

## 溪流の貴公子 ヤマセミ

8月は記録的な猛暑となった。連日35度以上の日々が続き、テレビでは不要不急の外出は控えるよう呼び掛けている。

こんな時でも出かけなければ自然の移ろいが観察できないので、いつもの観察ポイントを数か所廻った。やはり野鳥の姿は殆ど見られません。この暑さは野鳥の行動にも影響があるのでしょうか。

北檜岡高花の田んぼ排水路沿いに車を走らせると、突然ヤマセミが飛び出した。水路で餌を探していたのでしょうか。すぐ車を停車し眺めていたら揚水機の鉄柵に留まった。



白黒の鹿の子模様。涼しさを運んでくれました。

ヤマセミは山地の溪流や湖沼に生息し、「溪流の貴公子」などと形容されるほど姿が美しい野鳥である。集落に近く、田んぼが連なる平坦な場所に現れるとは驚きです。暫くこの場所から移動せず、尾羽と冠羽をピッと立てる瞬間もしっかりと見る事が出来ました。

真夏の暑さの中、白黒の鹿の子模様のヤマセミは爽やかな涼しさを届けてくれました。



尾羽をピッと上げて遠くを見つめた。



下の水路の魚を狙っている。



下雨覆いが褐色で、メスでした。



勢いをつけて下流に飛び立った。